

なないろ

nanairo

なないろの喜びと笑顔を
みなさまにお届けします。

秋

vol.23



今号の1枚

グループホームあおぞら 地鎮祭の様子

6月20日に青森市問屋町の生協さくら病院周辺敷地内にて、法人建設計画のグループホームの地鎮祭が執り行われました。詳細記事は2面に掲載しています。

New Open!

2020.11 開設予定

グループホームあおぞら

デネブ、アルビレオ の新築

この度、グループホームあおぞらでは、「橋本荘」を移転することとなり、問屋町に2ヶ所の障がい者グループホーム「デネブ」「アルビレオ」を建築中です。

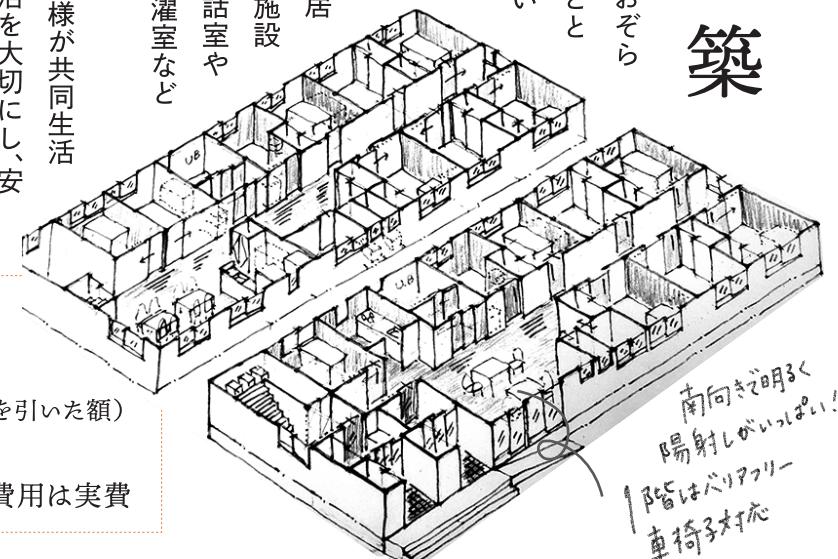
1階、2階と2つの共同住居に分かれしており、男性専用（1施設6人定員）で、6畳の居室、談話室や台所、浴室、トイレ、洗面所、洗濯室などの共用設備を備えています。

グループホームでは、入居者様が共同生活をしながら、その人らしい生活を大切にし、安心して暮らし続けられるようスタッフが生活全般のサポートをさせて頂きます。11月開設を予定し、入居者様を募集しておりますので、お気軽に問い合わせ下さい。今後も微力ながら研鑽努力して参りますのでどうぞ宜しくお願ひ致します。

グループホームあおぞら所長／佐藤 織恵

【利用料】

- 家賃：21,000円
(自治体の補助10,000円を引いた額)
- 日用品：5,000円
- 光熱水費・その他の費用は実費



【問い合わせ】 グループホームあおぞら tel.017(728)8601 佐藤 または 塩谷 まで



[祖母からの贈り物 莓]

そばからのおくりもの いちご



春も終わる頃、「裏山さ苺いっぺ生ったすけ、採さこい」と実家の父から連絡がありました。苺なんて栽培してたっけ? しかも、裏山に? と思い子供達と一緒に帰ってみると…勢いよく生い茂った草木の中に、確かに小さな苺が沢山実っていました。それはすっかり草木に埋もれていたのですが、一面に広がっており、子供達も面白がって採り、ざるいっぱいになりました。

父は兄弟が多く、戦後、女手一つで子供達を育てた祖母が、朝から晩まで裏山一面に畑を耕し、子供達の為にわずかばかりの苺も植えていたと聞きました。そして半世紀以上経った今、不思議と今年は沢山実ったのだそうです。愛情深かった大好きな祖母からの贈り物と勝手に思いを馳せながら、甘酸っぱくて柔らかい苺を皆さんで頂き、しみじみとしました。

地域活動支援センター八甲
相談支援専門員／萱森 静香

訪問記録(デジタル方式)の仕組み



事業所紹介 ヘルパーステーション はるかぜ

私たちの事業所は、自ら変革を望み、訪問サービスの記録方式を、紙媒体から、モバイル携帯端末を利用したペーパーレスのデジタル方式への移行に取り組みます。ヘルパーさんは手元の携帯端末で、実施記録や訪問スケジュールの管理ができます。また事業所では訪問サービス実施内容が、タイムラグなくパソコン画面上で確認することができます。ご利用者様へのサービスの質向上とヘルパーの働きやすさを追求するためのシステムです。導入するにあたり時間も労力も要しますが、事業所の全職員で一から学び、現状から前に進むための前向きな変革と考えています。

停滞する事は退化の要因です。これからも“変わる”事に足踏みせず、ご利用者様の笑顔の支えができるよう、日々努めていきたいと思っております。

ヘルパーステーションはるかぜ 所長／村瀬 達也

次世代法に基づく一般事業主行動計画の策定

法人事務委員会では、次世代法に基づく一般事業主行動計画の企画の実施と計画の管理を担当しています。今年度の初めに計画見直しの時期を迎え、新しい計画の策定を行いました。過去には主に産休・育休の制度普及と、利用のしやすい職場づくりの為に学習会のほかに、育休取得経験者とプレママの座談会や子

ども参観日などを開催しています。

今回の計画では今までの取り組みを更に深め、働きやすい環境となる為の取り組みを続けていきます。職員へのアンケート調査や残業時間削減への取り組みを通じて職員一人一人の違いが認められながら、法人の成長に繋がるよう頑張ります。

法人事務委員会 委員長／山崎 英二

目標

1

育児休業等の制度についての全職員向けの宣伝物等を作成し、各事業所に配布し、掲示、備え付けることで制度の周知を図る。

目標

2

育児・介護に関わる諸制度の法改正等の周知を図るために、年1回以上、専門家による学習会を実施する。

目標

3

子ども（地域の子どもを含む）が保護者である職員の働いているところを実際に見ることができる「子ども参観日」を実施する。

目標

4

所定外労働を削減するための措置（例：ノー残業デーの設定など）を普及する。



今日は
のり弁です♪

愛妻弁当

No.20

職員休憩室。

良いご縁があり、昨年の冬にネコ好きを通じて仲良くなつた方と結婚をしました。妻も仕事をしていますが、毎朝欠かさず私の弁当を作ってくれています。

妻は料理がとても上手で、煮物も得意です。最近はオープンレンジも買ったので、

グリルチキンなどレパートリーが増えているようで、ますますお昼の時間が楽しみになりました。妻には感謝の気持ちでいっぱいです。妻の弁当から元気を貰い、日々の仕事を頑張りたいと思います。

デイサービス虹のひろば 介護福祉士／倉内 誠

発行月変更のお知らせ

新型コロナウイルス感染防止対策により、法人内外の多くのイベントや学習会等が延期・中止になっております。そのため本誌編集委員会では、次号「なないろvol.24」の発行予定を2020年12月、「なないろvol.25」の発行予定を2021年3月とさせていただくことに致しました。楽しみにして下さっていた皆様には、ご迷惑をお掛けして誠に申し訳ございません。ご理解の程何卒宜しくお願ひ致します。

●ご意見・ご要望をお待ちしております。

この機関誌に関する、ご意見・ご要望、読者様の俳句・川柳・その他ご趣味などがございましたら、ぜひ下記までお寄せ下さい。



なないろ vol.23 2020年9月発行(次回発行予定 2020年12月) 発行部数／1,150枚 発行責任者／山崎繁喜

発行元／社会福祉法人「虹」 TEL 030-0131 青森県青森市間屋町1丁目15-10 TEL 017(738)1133 http://nijiweb.net/

配布先／社会福祉法人 虹 本部・デイサービス虹のひろば・デイサービス虹のひろば新城・ショートステイ虹の郷・ヘルパーステーションはるかぜ

・居宅介護支援事業所 野いちご・地域活動支援センター八甲・自立訓練所 ほのぼの寮・グループホームあおぞら・福祉用具サービス七ツ星